

学習内容報告書 フォーマット

学校名	関西大学北陽高等学校
授業者	花井 英子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

アマモで繋がる人と海

1-2. 学年

高校2年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

保健・総合的な学習の時間・特別活動

1-4. 単元の概要

本校は、2017年度より海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加させていただき、NPO 法人環境教育技術振興会／NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センターご協力の下、阪南市立西鳥取小学校と協働で「アマモ場再生」に取り組んできた。

本年度は、海を大切に作る資質や能力の育成・出前授業、アマモサミット参加を通じて『海洋環境を学ぶカリキュラムの開発』や『環境保全に対する意識を高め対外的に発信できる人材の育成』に取り組む。

また、3年間の活動報告を行いながら海洋環境保全啓発活動に取り組む。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

私たちの生活が豊かになる一方で、環境問題が深刻化しており様々な対策が講じられている。しかし、海洋問題は海から離れた地域に住む人にとって自らの生活と関連づけることが難しい。そこで、海洋問題が様々な環境問題と繋がっていることを学び、私たち一人ひとりが「環境にやさしい」ライフスタイルを選択できる能力を養う。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

環境保全に対する意識を高め対外的に発信できる能力を身に付けさせ、持続可能な地域づくりにつながる人材の育成に取り組む。

1-7. 単元の展開（全 10 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 2 3 時 間	①大気汚染と健康 ②水質汚濁・土壌汚染 ③健康被害の防止と環境対策	教科書を用いて、環境問題について知識を深める。 教師主導の授業 教科書：「現代高等保健体育」 大修館書店 副教材：「現代高等保健体育ノート」 大修館書店 iPad：「ロイロノート」
4 5 時 間	「環境問題」 知識の定着 知識構成型ジグソー法 グループ毎にテーマを決める 知識を深める	環境問題のエキスパートを育て、次のグループ活動に活かす。 自ら学び、学びを教え合うことで学びが深くなった。 教科書：「現代高等保健体育」 大修館書店 副教材：「現代高等保健体育ノート」 大修館書店 iPad：「ロイロノート」
6 7 8 時 間	グループワーク 海洋問題題材探し「SDGs」	同じテーマにならないように、SDGs 14「海の豊かさを守ろう」と、その他 16 の目標からもう一つ目標を見つけさせ、2つの目標を達成する方法を考えさせる。
9 10 時 間	研究発表	発表姿勢、教材の作成方法を指導する。 教科書：「現代高等保健体育」 大修館書店 副教材：「現代高等保健体育ノート」 大修館書店 iPad：「ロイロノート」

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

グループワークを通じて海洋環境保全の取り組みが身近であることを理解し、問題解決能力やプレゼンテーション能力の向上を図る。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>本時間までの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本時の内容 「研究発表」・ 発表の準備をする。・ 発表時間 各グループ 5 分・ 評価、感想シートの記入 <p>No.① 4 班 テーマ：「安全な水を世界中へ」</p> <p>No.② 3 班 テーマ：「豊かな海と気候変動」</p> <p>No.③ 5 班 テーマ：「未来への贈り物」</p> <p>No.④ 6 班 テーマ：「作る責任使う責任」</p> <p>No.⑤ 1 班 テーマ：「海と気候変動のつながり」</p> <p>※発表数は時間によって変更あり。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 環境問題に対する意識を高めるだけでなく発信することが大切であることを理解する。	<ul style="list-style-type: none">・ 本時までの内容を確認させる。・ グループの考えを発表させる。・ 発表の準備ができているか巡回し、質問があればアドバイスをする。・ 調べ学習の内容を、ロイロノート・ipad・プロジェクターを利用し発表させる。・ 発表姿勢を意識させる。・ 各グループの発表を聞き、質問や感想、評価ができるように評価シートに記入させる。・ 発表の感想、評価をする。・ 環境保全に興味を持ち、伝える重要性を理解させる。

3. 今回の活動の自己評価

iPad を使用し調べ学習を行い、ロイロノートを使用してプレゼン資料を作成させた。別途、作成した資料は添付しているが、たいへん素晴らしい内容であり、興味、関心を持たば自ら学びを深め意欲的に学習に取り組むことができると感じた。また、プレゼンでは、人前で話すことを得意とする生徒、資料を作成することを得意とする生徒等、グループワークを通じて個々の能力が発揮できる場となったこともたいへん良かった。

海洋教育を学校全体で取り組めるまでには、時間を要すると思うが、管理職や教科より高い評価をいただいたので、ひとりでも多くの生徒が海洋問題に興味をもち、持続可能な社会を実現できる人材の育成に取り組んでいきたいと感じている。

4. 今後の課題

限られた授業時間の中で、どの教員が担当しても成果がでるプログラムとなるようにしたい。

また、昨年度は異常気象、本年は新型コロナによって授業計画を変更することとなった。自然現象を踏まえて活動計画を立てることは難しいことだが、生徒にとっては大切な1年間となるため臨機応変に活動を継続できるノウハウを身に付けたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特記事項なし

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。